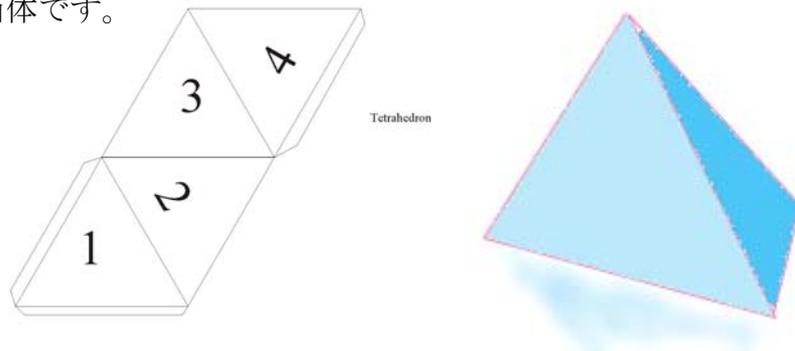


多面体の模型づくり

栗林 勝彦 (数理・自然情報科学科)
信州大学数学同窓会

正多面体といわれる、きれいな多角形がきれいにならんだ形を、紙を使って作ります。このような形がきれいなのは対称という性質があるからです。一部分を見ているだけで、あとは規則的にくりかえされているので、頭の働きが楽になるから美しく感じるのかも知れません。どのような規則で繰り返されているのかを考えてみましょう。

これは正4面体です。



はさみやカッターを使うときはけがをしないように十分気をつけてください。

8個の正4面体を使って次の星型ができます。中の8面はいらぬですね。

